

今回は、SGH・FRH指定 についてのお知らせです。

◇ 関高校は、文科省SGHネットワーク参加校です！

2014年度、関高校は岐阜県スーパーグローバルハイスクール（県SGH）の指定を受けました。当初の指定は3年間でしたが、活動成果を認められ、さらに3年間の継続指定を受けました。続く2015年度、文部科学省スーパーグローバルハイスクールアソシエイト（文科省SGHアソシエイト）の指定を受け、活動は2020年度まで継続しました。

2021年度、関高校はあらたに文部科学省スーパーグローバルハイスクールネットワーク参加校に認定されました。もちろん、文科省SGHアソシエイト、岐阜県SGHとしての活動実績が認められてのことであり、「SGHの成果普及と、持続可能なグローバル人材育成の推進」がその使命です。

◇ 関高校は、岐阜県指定の地域共創フラッグシップハイスクールです！

2020年度、SGHとしての活動が継続する中、関高校は、岐阜県より新たに地域共創フラッグシップハイスクール（FRH）の指定を受けることになりました。FRHとは、地域とともに、地域の課題解決に取り組む人材を育成することを目的とした活動を行う学校のことです。この事業開始により、今まで以上に地域連携が進みました。

◇ グローバル社会と地域をつなぐ若者を、地域とともに育てる学校です！

関高校は、いったいグローバル志向なのか。それとも地域密着型なのか。SGH、FRHの指定が相次ぐ中、そんな質問が寄せられました。結論から言えば、関高校は、その双方を包括した教育目標を掲げる学校です。

少子高齢化の進行や激甚災害の多発、産業構造の変化など、地域社会は様々な問題を抱えています。「持続可能な地域社会」の存続には、グローバルな視点からの改革が必要ですし、グローバル社会を生き抜くためには、安全な地域コミュニティの持続と再編が不可欠です。

SDGs（持続可能な開発目標）の掲げる17のゴールと169のターゲットは、グローバル課題であると同時に地域課題でもあります。グローバル社会と地域をつなぐ教育は、若者にとって必須な学びであると言っても過言ではありません。

人類の生存を脅かしかねない環境破壊や貧困問題、国際紛争等の諸課題解決のためには、地球規模でものごとを考え、まずは地域で活動をはじめることが肝要です。

とはいえ地域での学びは学校だけで行えるものではなく、地域の様々な団体や個人の協力があって、はじめて成り立つものです。関高の立地する関市とその隣接地域には、そうした学びを支える行政機関やNPO法人、企業などのネットワークが構築されつつあります。関高での学びは、そのようなネットワークに支えられています。

探究活動発表会の様子（観光交流施設せきてらす）

